

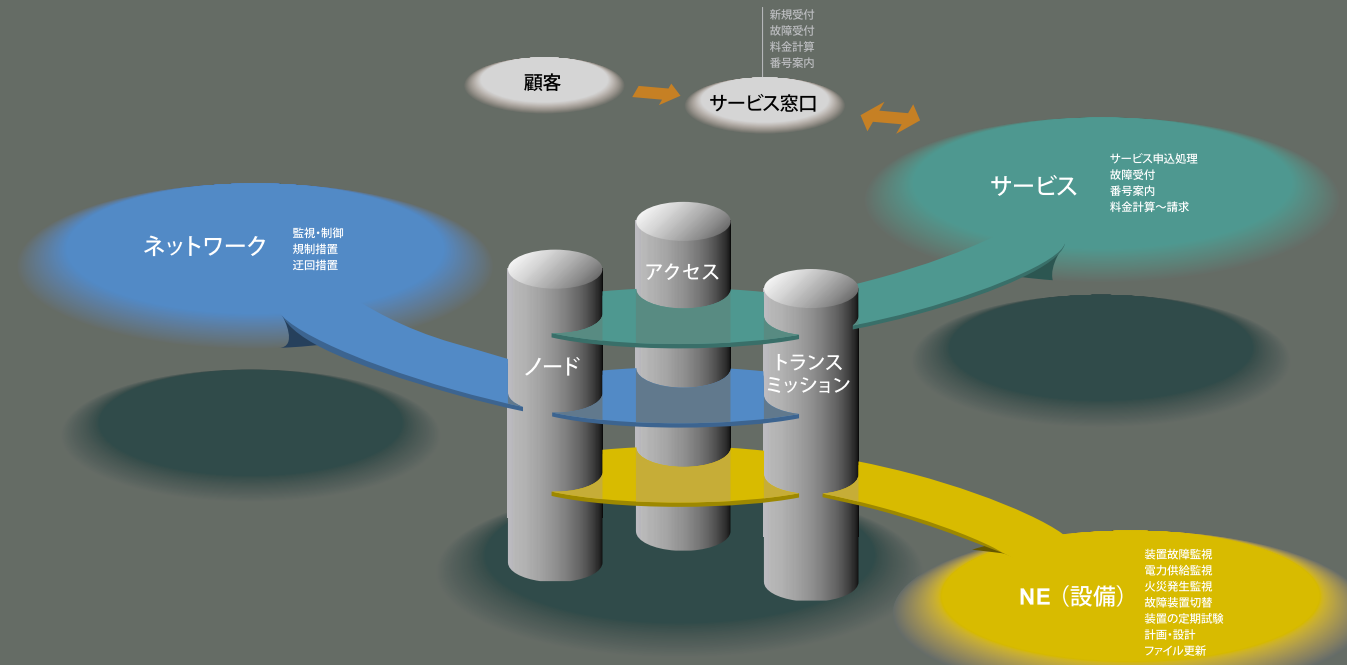
# 大規模ネットワークを支えるオペレーション

Operations that support large-scale networks

オペレーションシステムは、図に示した3つの系統に大別できる。これらは機能的に異なるが互いに連携して働くように構成されている。

例えば、顧客が回線の申し込みをした場合、サービス系の窓口で受け付けた注文は一元的に必要な処理が施され、

他の連携する系統にデータや指示が伝達されることで、フロースルー化を実現した。



アクセス	加入者と電話局の接続系(ケーブル、管路、とう道など)
ノード	交換機(加入者交換機、中継交換機)
トランスミッション	交換機と交換機を結ぶ経路(有線伝送路、無線伝送路)

# オペレーションの進化

Evolution of operations

ネットワークを運用する業務は手作業の時代から、少しずつ電算化されシステム化されてきた。需要が急激に増加し手作業での対応が困難になったとき、まずサービス系からの電算化が進められた。ほかは、急速に進むデジタル化とともにシステム化を実現してきた。さらに、1990年代の後半には、3つの系統の統合システム化が実現し、2002年以降は、設備データのフロースルー化およびサービスオーダーのフロースルー化による一元化されたオペレーションシステムへと進化している。

